

Title	はじめに
Sub Title	
Author	長谷山, 彰(Haseyama, Akira)
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」
Publication year	2018
Jtitle	リーディングプログラム7年総括報告 詳細A4版 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005003-00002017--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

はじめに

長谷山 彰（慶應義塾長）



慶應義塾大学は、新しい博士人財育成を目指し、7年前に文部科学省支援の下、リーディングプログラムを開始しました。3年で文理に跨る2つの修士号を取得した上で博士学位を取得することにより、主専攻の枠を大きく超えて視野を広げるとともに、5年間にわたる高密度の社会人メンター指導により、社会課題に挑戦できる人財を育成するという、極めて野心的なプログラムを慶大大学院で全学的に展開して参りました。これまで、主に大学や研究機関に就職していた博士人財が社会の広い分野で活躍することで、変化が激しく多様性と流動性の高まる国際社会で日本が生き残る途もみえてきます。

早いもので、この3月末で7年間の文部科学省支援が終了します。ご関係の皆様のご尽力のお蔭で、育成された学生たちは、学内外から高い評価を得、今まで新卒博士の職場ではなかった企業ビジネス部門や中央省庁に、昨年4月に1期生が飛び立ち、更にこの4月には2期生がこれに続きます。

こうした大きな成果が後押しとなり、4月からは大学自らの計画のもと新たな高度博士人財育成プログラムを開始します。このようにリーディングプログラムが期待を超えた成果を生んで発展できましたことは、文部科学省の7年もの長きにわたるご支援、並びに、産業界・自治体からご参加いただいたボード会議のメンバー、メンターの皆様を始めとした学外の関係者、そして主専攻・副専攻の指導教員やプログラム担当者を始めとする学内の関係者のご理解とご指導のお蔭であります。皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き本学の高度博士人財育成のために、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。